

NWQグローバル厳選証券ファンド 愛称：選択の達人

分配金のお知らせと足元の市場環境について

2020年9月18日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「為替ヘッジあり／隔月分配型」、「為替ヘッジなし／隔月分配型」、「為替ヘッジあり／資産成長型」および「為替ヘッジなし／資産成長型」は、2020年9月17日に決算を迎え、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

今後ともファンド運用にあたりパフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり ／隔月分配型	為替ヘッジなし ／隔月分配型	為替ヘッジあり ／資産成長型	為替ヘッジなし ／資産成長型
当期決算 分配金	30円	70円	0円	0円
基準価額 2020年9月17日現在	10,368円	9,708円	10,743円	10,480円

※分配金は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社（大和アセット）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額のお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』の収益配分方針は、次のとおりです。

〔隔月分配型〕

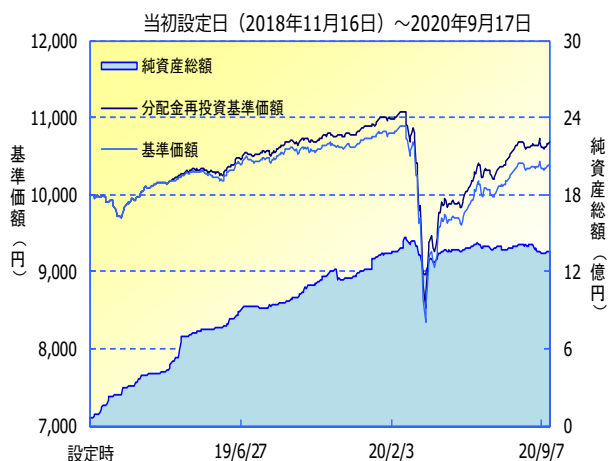
- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

〔資産成長型〕

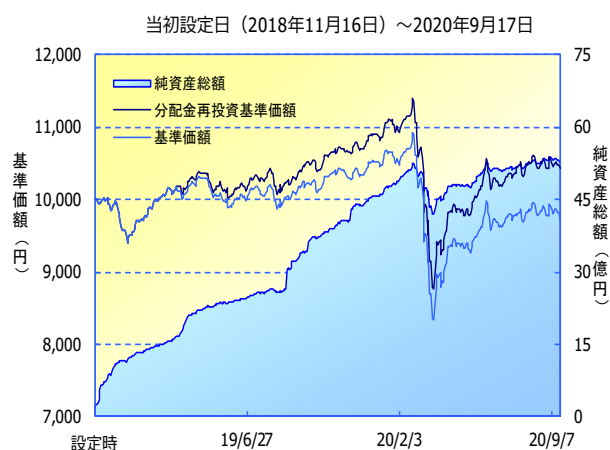
- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

■ 基準価額・純資産の推移

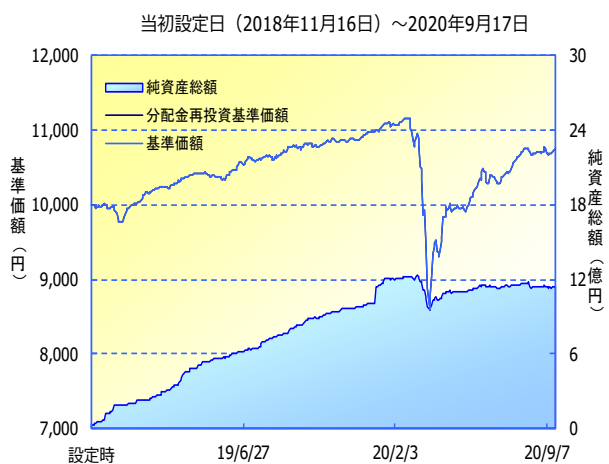
■ 為替ヘッジあり／隔月分配型



■ 為替ヘッジなし／隔月分配型



■ 為替ヘッジあり／資産成長型



■ 為替ヘッジなし／資産成長型



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ ファンドマネージャーのコメント ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

当ファンドの基準価額は、2020年2月～3月の大幅下落の影響により大きく値下がりしましたが、足元は全資産クラスで反発するなど、回復傾向にあります。
 なお、当ファンドが組み入れている各資産の騰落率は、それぞれの資産の参考指数と比べ、投資適格社債、ハイイールド債券で上回り、優先証券、株式、転換社債で下回る結果となりました。（4ページ参照）

<設定来の市場環境>

■ 設定来の資産別パフォーマンス推移

（2018年11月16日～2020年9月10日）



（出所）Bloomberg

※当グラフで使用した指数について

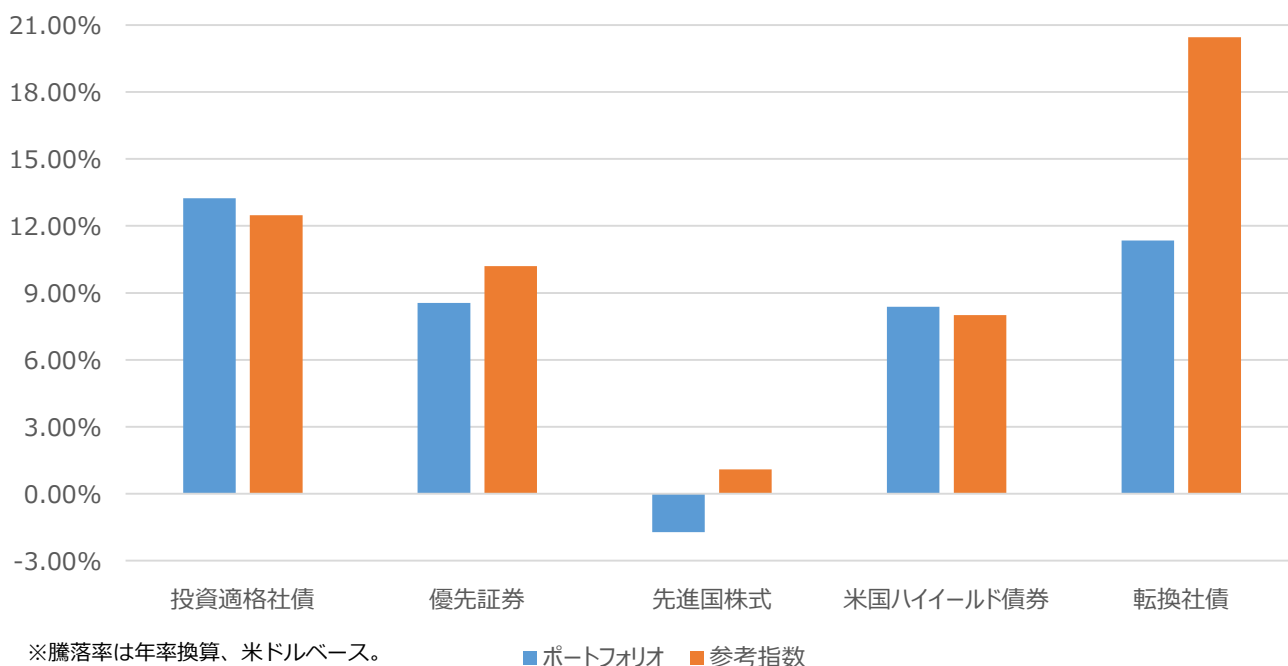
「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「米国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。

2018年11月16日=100として指数化、指数はすべて米ドルベース。

資産別騰落率

設定来

(2018年11月16日～2020年9月10日)



(出所) NWQ、Bloomberg

- 投資適格社債は上昇しました。優良銘柄に注力して組み入れたため、2020年2月～3月における市場の下落以降、早期にパフォーマンスを回復することができました。特にコロナ禍による影響を受けにくいIT関連銘柄などを組み入れたことなどが奏功し、参考指数を上回りました。
- 優先証券は上昇しました。パフォーマンスが相対的に優位となった大型銘柄が中心の参考指数と比べ、ファンドでは相対的に小型の銘柄が中心であるため、参考指数を下回りました。
- 株式は下落しました（参考指数は上昇）。高配当銘柄としてファンドに組み入れている公益セクターやリートの足元の回復が限定的であったため、参考指数を下回りました。
- ハイイールド債券は上昇しました。低クレジット資産が売られる状況において、投資適格社債と比較すると低調なパフォーマンスとなりました。参考指数を小幅に上回りました。
- 転換社債は上昇しました。利回り型の転換社債を中心に組み入れていたことから、市場の回復局面でファンドの騰落率は参考指数を下回りました。

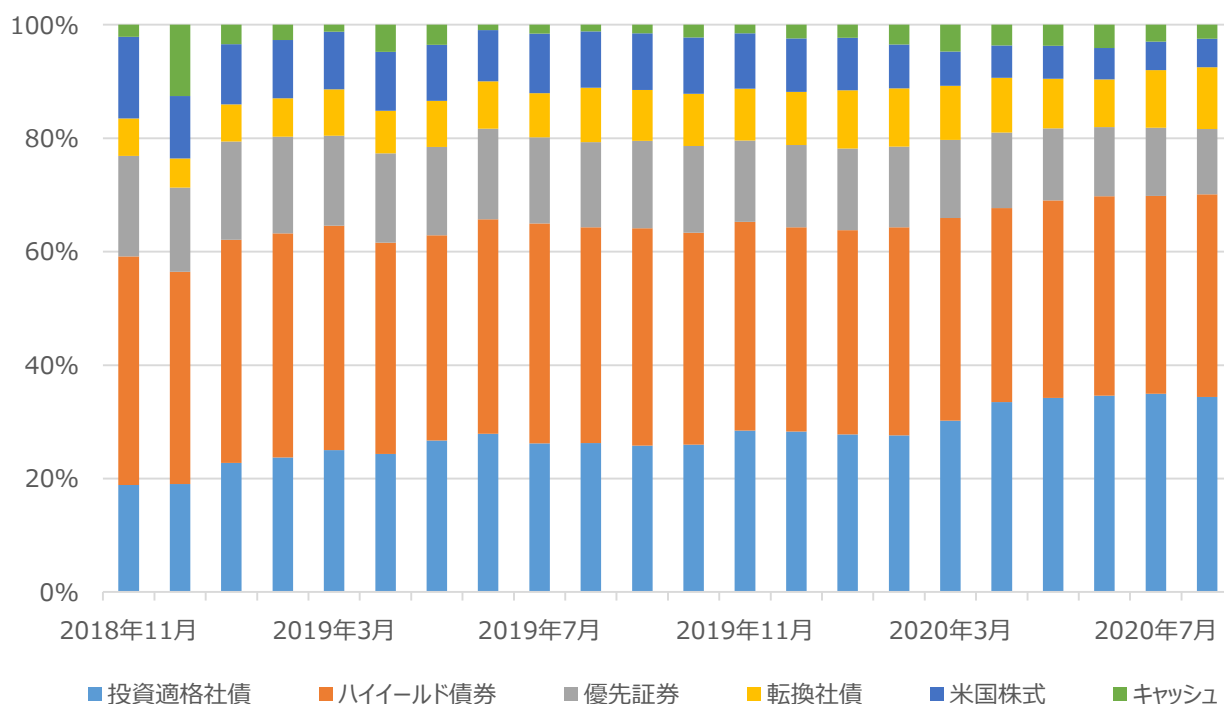
※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「先進国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。指数はすべて米ドルベース。

＜設定来の運用状況＞

■ 資産別構成比

(2018年11月末～2020年8月末)



- 投資適格社債とハイイールド債券中心のポートフォリオを維持しながら、投資適格社債の組み入れを増やしました。

足元のコロナ禍による影響の大きかった2020年2月～3月において、ETFの解約による強い売り圧力によってリスク性資産は大きく下落する展開となりました。このような局面において、注目銘柄の中で割安水準まで下がった銘柄を組み入れました。4月～6月期には経済活動の停止によって、米国は景気悪化に直面すると考えられたことから、企業財務が安定しており、フリー・キャッシュ・フローが潤沢な企業の投資適格社債を中心に組み入れました。足元では株価上昇を受けて多くの組入銘柄が適正価格に達したとの判断から米国株式の組み入れを削減した一方で、リスク/リターン観点で魅力度が高い転換社債や、ハイイールド債券の組み入れを増やしました。

設定来において、良好なクレジット市場、長期金利低下から恩恵を受けた投資適格社債の組入比率を高位に維持したことなどがプラス要因となりました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜個別銘柄の投資事例＞

■ チャーター・コミュニケーションズ（投資適格社債）

STEP①：企業選択

企業選択理由

米国第2位のケーブル・テレビの運営会社である同社は、コロナ禍にありながら2020年4-6月期にケーブル・テレビの利用者が10万2000人増（市場予想：12万9000人減）、インターネット回線の利用者が84万2000人増（同43万9530人増）と、予想以上の伸びを示している。同四半期のキャッシュ・フローも市場予想を上回る結果となるなど、業績は拡大している。



STEP②：証券選択

事業内容

投資適格社債に注目

今回投資した債券は、魅力的なコール利回り（コール日に早期償還されると仮定した場合の利回り）となっているほか、通信セクターに属する競合会社と比較したスプレッド（国債に対する上乗せ金利）も大きい。同社がさらに財務改善を進める方針を示していることも、債券価格の上昇に寄与するとみている。

ケーブルテレビ会社。有線放送、インターネット、音声通信、その他事業を手掛ける。米国で事業を展開。

■ 債券価格および利回りの推移

（2019年12月31日～2020年9月10日）（％）



※クーポン6.484%、2045年10月23日償還予定の債券価格および最低利回り（ミッド）。

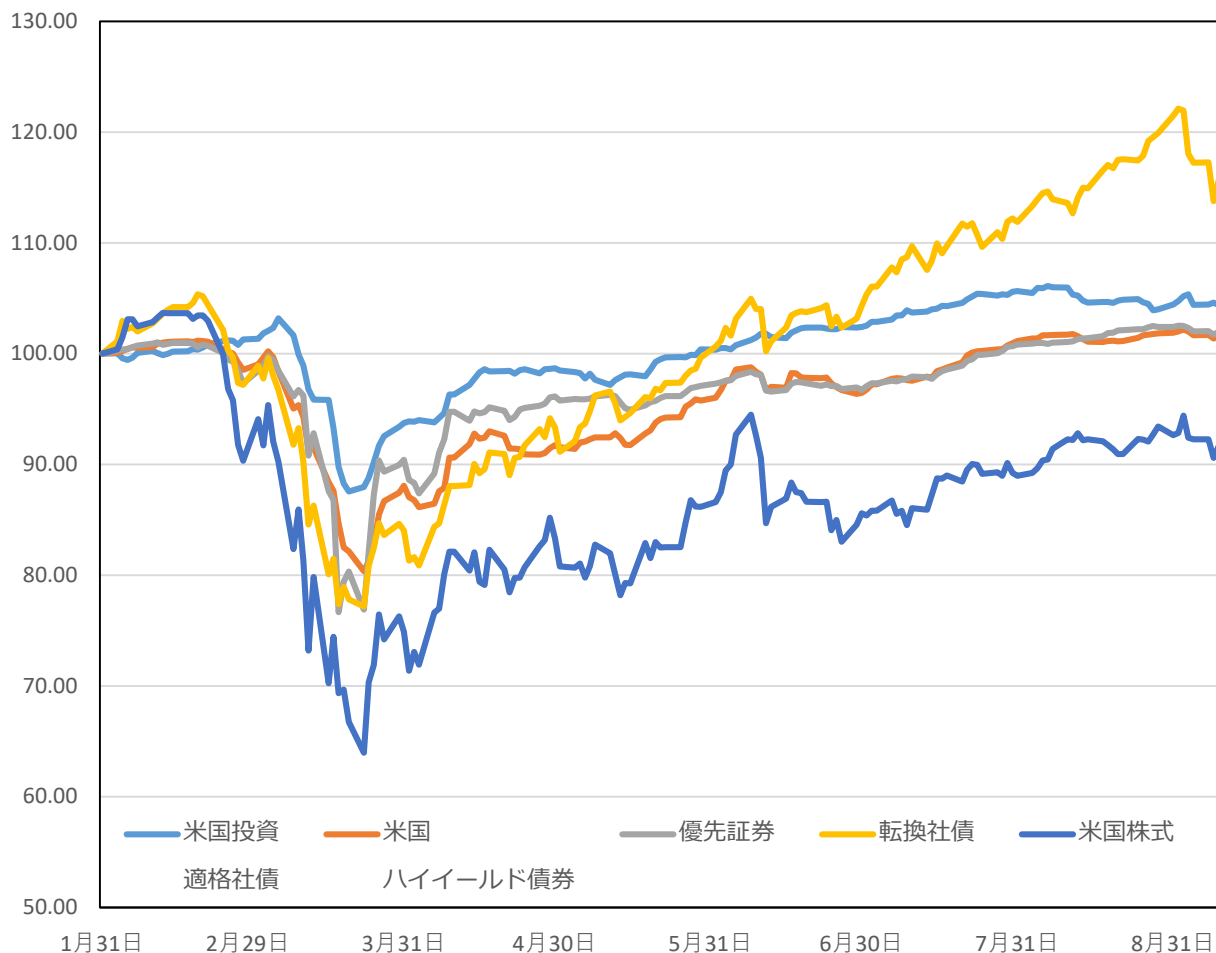
※債券価格はトータルリターン。2019年12月31日を100として指数化。

（出所）NWQ、Bloomberg

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

足元の市場環境について（新型コロナウイルス感染拡大の影響）

（2020年1月31日～2020年9月10日）



（出所） Bloomberg

※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「米国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。

2020年1月31日=100として指数化、指数はすべて米ドルベース。

<市場環境>

■ 投資適格社債や転換社債などを中心に回復基調で推移、為替（米ドル円）は円高推移

株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大などがマイナス材料となり、3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国政府やFRB（米国連邦準備制度理事会）による大規模な景気刺激策などを背景に下落幅を縮小し、回復基調で推移しました。6月に入り、新型コロナウイルス感染第2波懸念で一時弱含む局面もありましたが、主要各国中央銀行による緩和的政策の長期化期待やワクチン開発期待、想定よりも力強い経済指標などによって株式市場はおおむね上昇基調で推移しました。

投資適格社債は、投資家のリスク回避の動きから資金流入が活発化したこと、3月上旬にFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.5%の緊急利下げが実施されたことや、FRBによる資産購入プログラムの対象となっていることなどが支援材料となり、相対的に堅調に推移しました。

米ドル円は、市場の混乱による米ドル需要の高まりなどから一時的に米ドル高が進行する局面もあったものの、日米金利差の縮小、リスク回避の円買いが優勢となり、円高が進行しました。

<運用状況>

- 経済活動の段階的な再開を背景にクレジット・スプレッドが縮小基調にあることから、投資適格社債やハイイールド社債を中心としたポートフォリオを維持しました。

【資産別の足元の投資行動】

- 投資適格社債：クレジット・スプレッドが大きく拡大した銘柄に投資。
- ハイイールド債券：ファンダメンタルズが堅固で高クーポンが享受できる銘柄に投資。
- 転換社債：株式対比でダウンサイド・リスクが低位に抑えられる銘柄に投資。
- 優先証券：低金利環境でも投資妙味がある銘柄に投資。
- 株式：投資比率を5%台まで引き下げ。候補銘柄の内、下値が限定的と見込める銘柄に投資。

<今後の見通し>

米国大統領選挙や新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念など、先行き不透明感が依然として強い状況です。FRBによる大規模な金融緩和や米国政府による景気刺激策など、経済の下支えに取り組まれているものの、その具体的な効果などに関しては不透明感が依然として強い状況です。しかし、今後感染者数の収束や効果が期待できる治療薬の開発、経済活動の再開などプラス材料が出るようになれば、状況の回復につながるとみています。

市場変動性が高まった足元の市場環境を考慮すると、ボラタイルな相場により市場の歪みが発生し新たな投資機会が生まれると考えております。直近の市場変動は急激なものとなっていますが、当ファンドの運用戦略は中長期投資であり、現在のバリュエーションは、中長期的には魅力的であることから、米国を含む世界経済が回復に転じるにつれて、現在保有する資産につきましても回復すると考えます。

<今後の運用方針>

引き続き、企業の資本構成全体に対してボトム・アップ・アプローチに基づくファンダメンタルズ分析を行い、割安で放置されている、投資妙味の高い証券の特定に努め、リターンの創出を目指してまいります。新型コロナウイルスの収束が見通しにくい状況下にあることから、新型コロナウイルスに対する懸念など、リスク・センチメントの悪化が長期的に残存するとの保守的なシナリオを想定して分析を行っております。当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債などクレジット性資産を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。

ポートフォリオ全体としては引き続き投資銘柄および企業の選定が重要であると考えており、徹底したリサーチを通じて投資妙味のある企業および証券を選定していくことで、魅力的なリスク調整後リターンの創出が可能であると考えています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※ファンドマネージャーのコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT

1

米ドル建資産に投資、
**高水準の
インカムを追求**

POINT

2

市場が大きく
変化する中でも
**安定した
パフォーマンス**

POINT

3

有望企業を選択のうえ、
最も投資効率が
良い証券に投資する
**NWQ社の
独自の投資戦略**

※当資料中においてNWQインベストメント・マネジメント・カンパニーをNWQ社と表記することがあります。

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニーについて



世界最大級の年金運用機関
TIAA
(全米大学教職員保険年金協会)

nuveen
A TIAA Company

TIAAの資産運用部門
NUVEEN LLC
(ヌベーン)

NWQ
from nuveen

企業分析、バリュー投資のスペシャリスト

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

運用資産残高：約122億米ドル（約1.3兆円*） 従業員：33人（内、運用担当21人）
業界経験年数：平均約21年 運用チームの企業訪問数：約1,200件（2019年）
当ファンドの類似戦略のアナリスト人員数：株式／16人、株式以外／5人

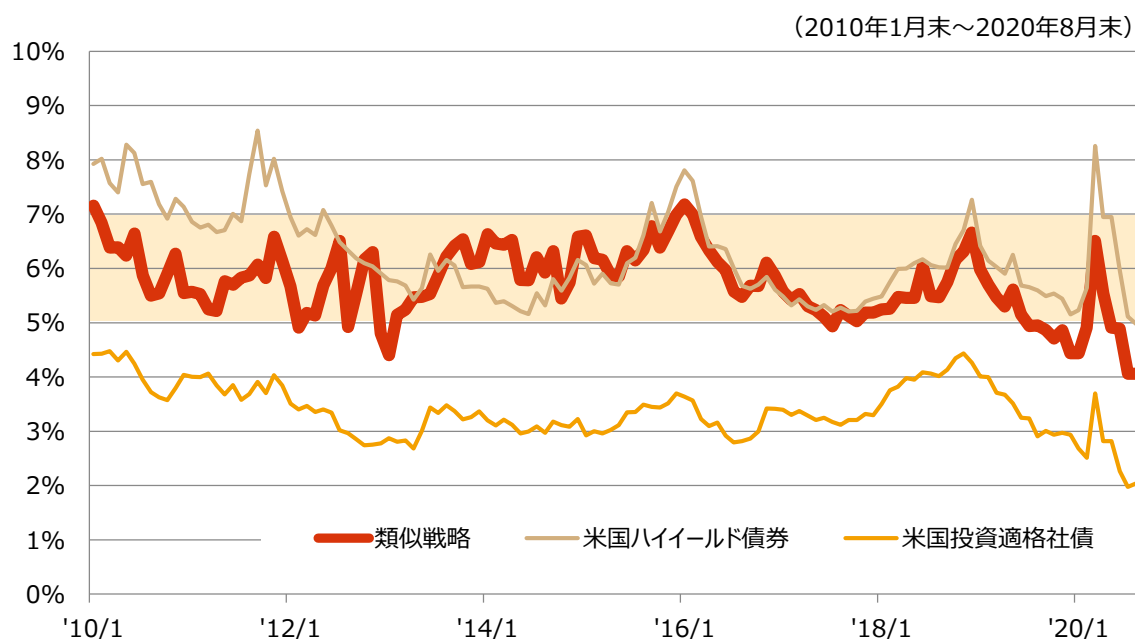
※2019年12月末時点。* 換算為替レートは、（2019年12月末時点のレート）1米ドル=108.61円。
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

Point 1. 高いインカムがパフォーマンスを下支え

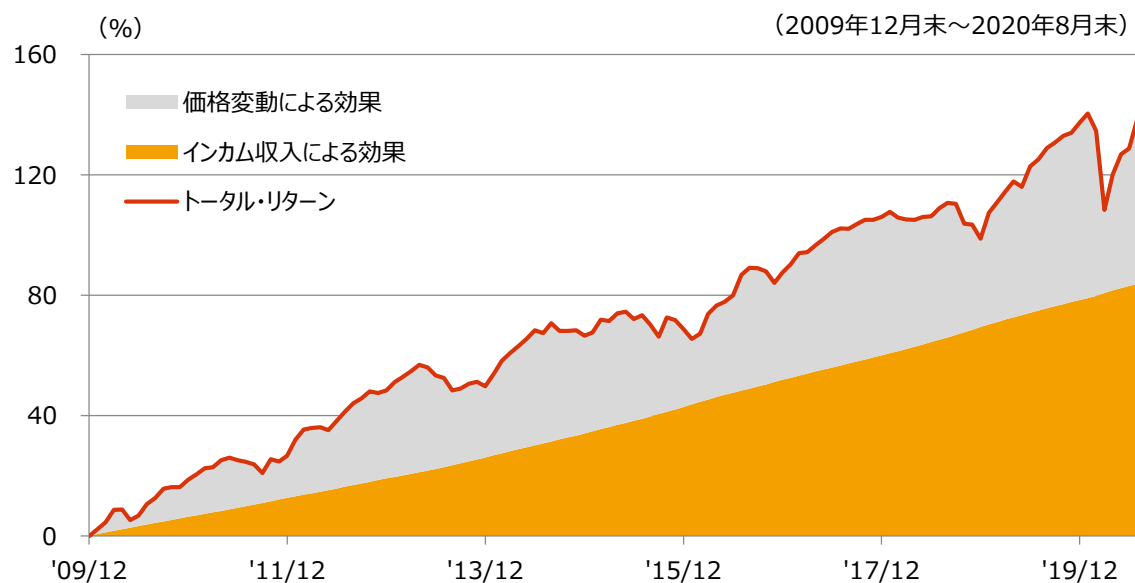
当ファンドの類似戦略の利回りは、相対的に高い水準を維持してきました。

相対的に高いインカムの積み上げがパフォーマンスを下支えしています。

利回りの推移



当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析



※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Indexを使用。

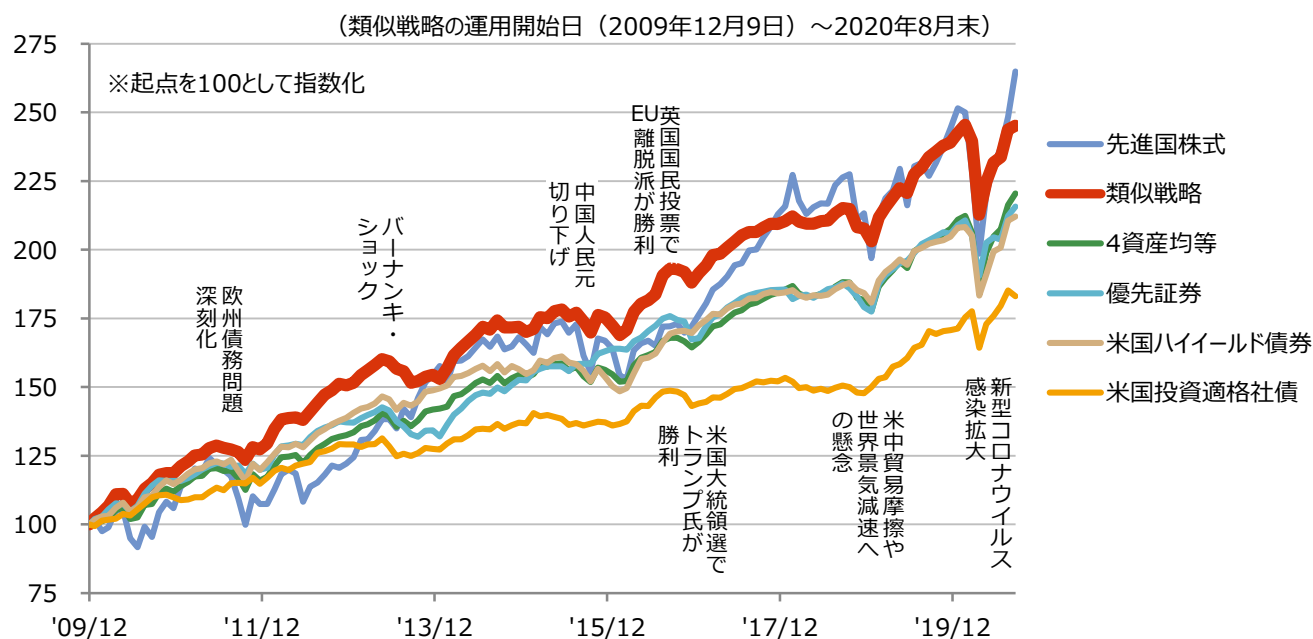
(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 2. 過去の大きな下落も乗り越えた実績

当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく調整したものの、過去、市場が大きく変化する中において、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



※4資産均等は米国投資適格社債、米国ハイイールド債券、優先証券、先進国株式に1/4ずつ均等投資したと仮定し月次リバランスしています。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Indexを使用。

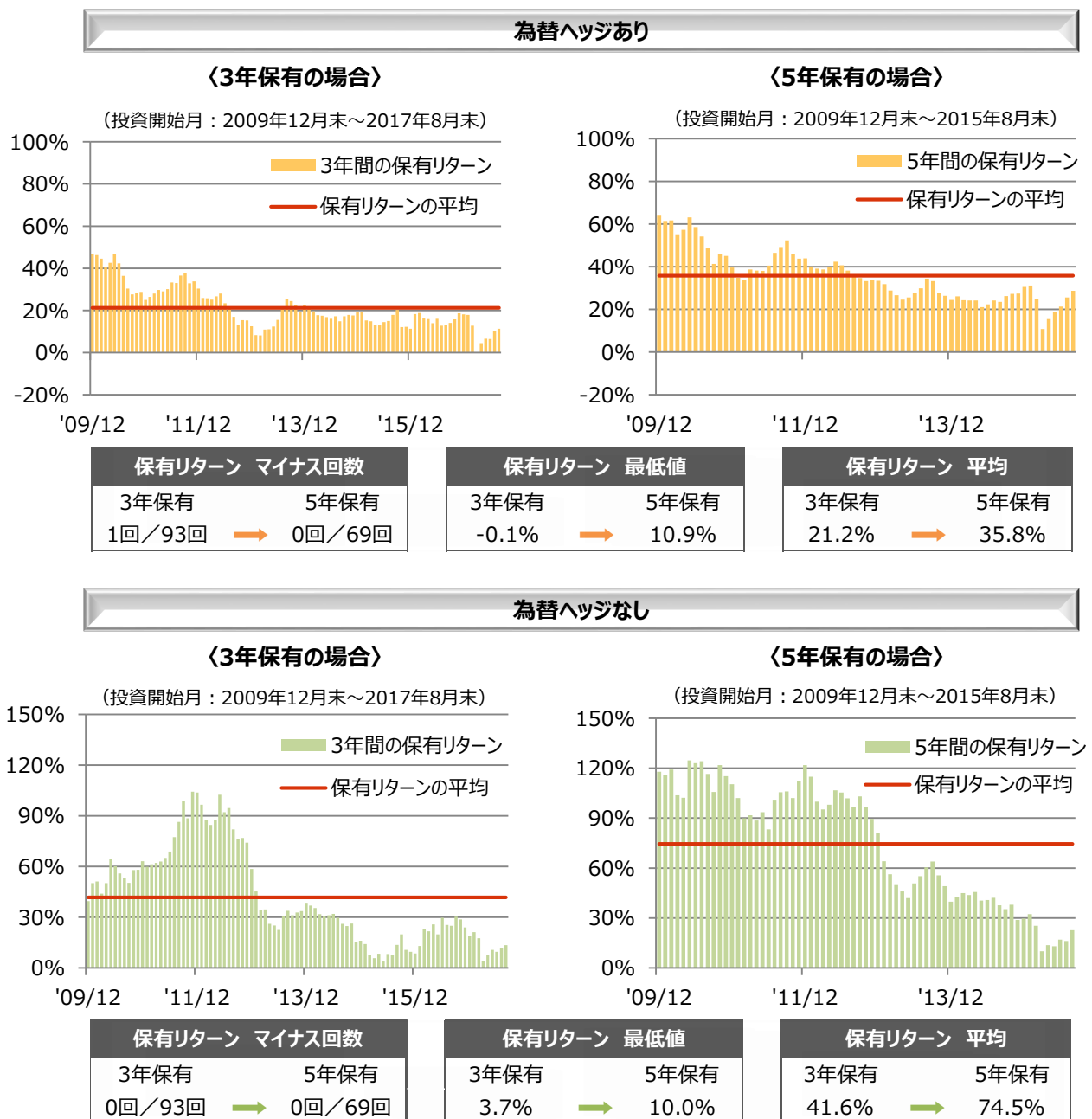
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

(ご参考) 長期保有で安定したリターンを獲得

当ファンドの類似戦略は、相対的に高いインカムの積み上げにより、5年間継続保有したと仮定した場合、「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」のいずれにおいても全期間プラスのリターンとなりました。

当ファンドの特徴である高いインカムは、時間の経過とともに安定的に積み上がっていくため、長期保有によってその効果を最大限に享受することができます。

■ 類似戦略の保有期間別リターン



※「3年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2012年12月末までの3年間保有したと仮定したリターン。「5年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2014年12月末までの5年間保有したと仮定したリターン。※「為替ヘッジなし」は円換算ベース。※上記の類似戦略は、当ファンドの投資対象ファンドである「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）（ヘッジなし・クラス）」と同様の運用チーム、投資哲学により運用された類似ファンドの米ドルベース、費用控除前のパフォーマンスを円ベースに換算した結果を表しており、当ファンドの運用実績とは異なります。また、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドの投資対象ファンドとは異なります。※上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「為替ヘッジあり」は為替ヘッジコストを考慮しています。

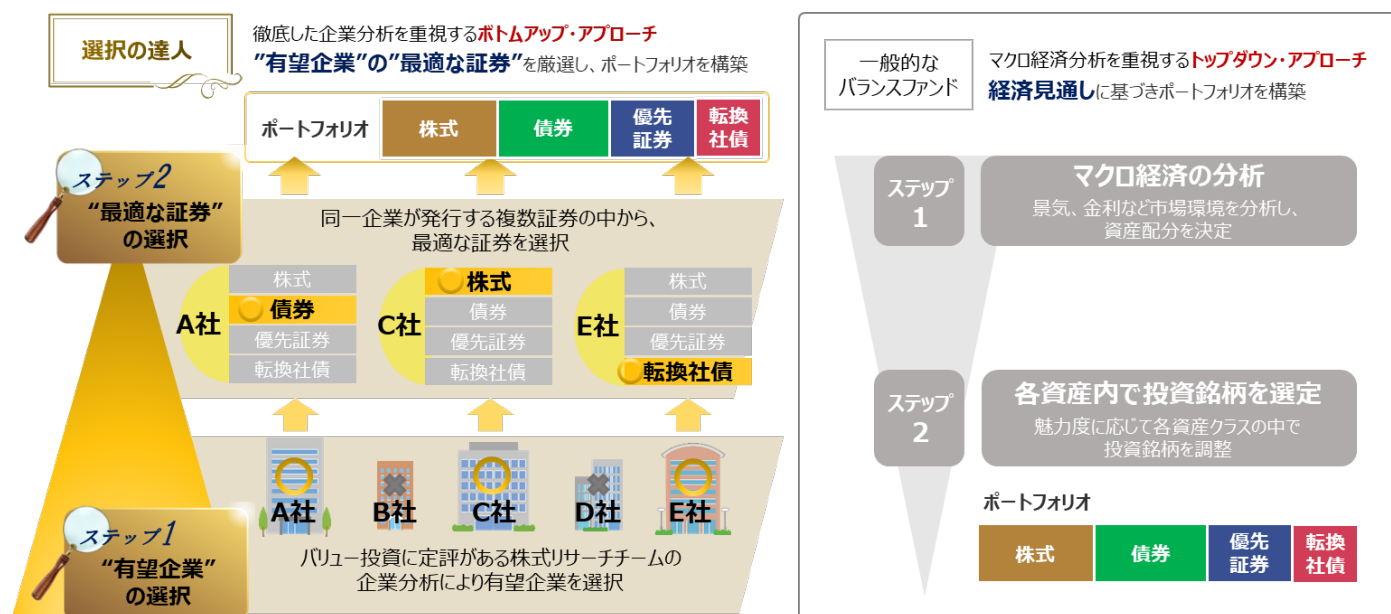
(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 3. 独自の投資戦略で高利回りの獲得をめざす

当ファンドは、マクロ環境の見通しに基づいて資産配分を行なう一般的なバランス型ファンドとは異なり、徹底した調査・分析に基づいて有望企業を選択し、その企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が良い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券に投資します。

このような独自の投資戦略により、引き続き高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンの獲得をめざします。

徹底した企業調査で“有望企業”を選択



※上記は資料作成時点のものであり、今後見直す場合があります。※上図はイメージです。

(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

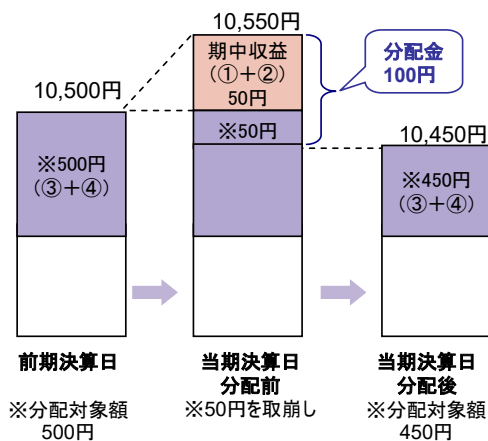
投資信託で分配金が支払われるイメージ



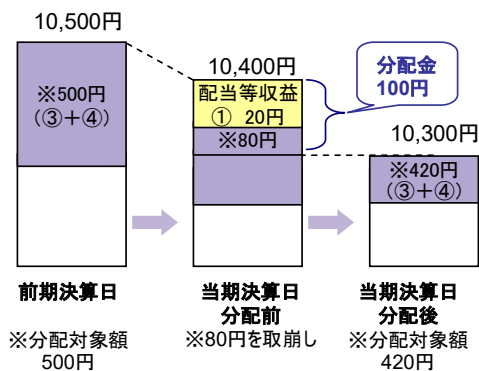
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



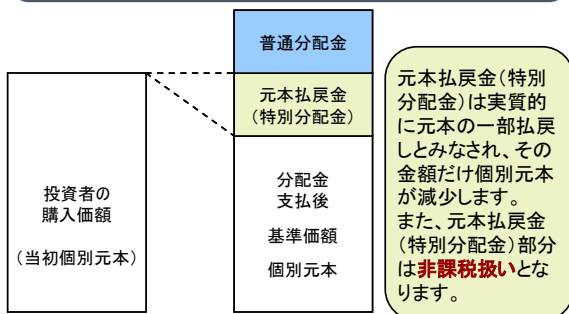
前期決算日から基準価額が下落した場合



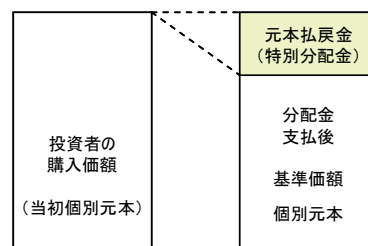
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. [隔月分配型] は年 6 回、[資産成長型] は年 2 回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

[隔月分配型]

毎年 1、3、5、7、9、11 月の各 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

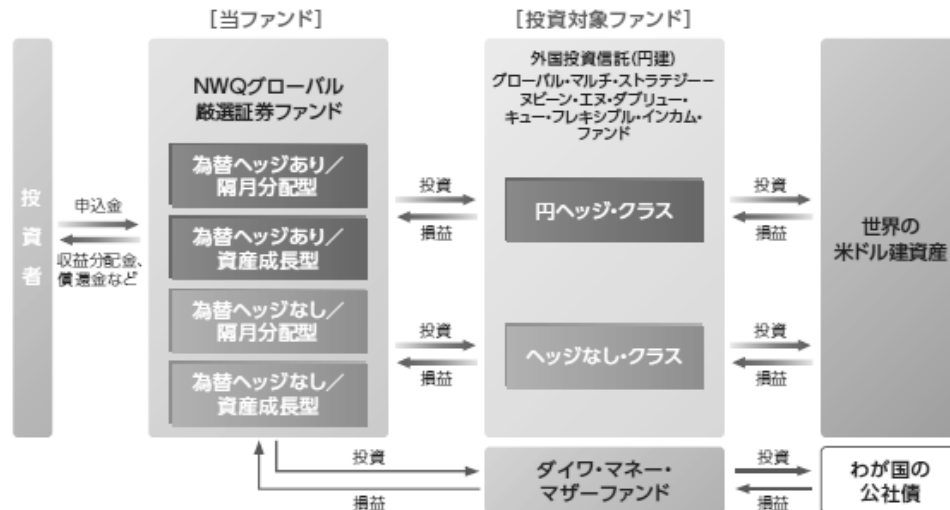
[資産成長型]

毎年 3 月 17 日および 9 月 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- ① NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）：為替ヘッジあり／隔月分配型
- ② NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）：為替ヘッジなし／隔月分配型
- ③ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）：為替ヘッジあり／資産成長型
- ④ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）：為替ヘッジなし／資産成長型
- ◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。
- ◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。
- ◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コンントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.6775% (税込) 程度	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産形成型）（為替ヘッジなし／資産形成型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○